



三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.18 —

令和元年8月27日発行

夏休み明け集会を行いました

夏休みの目標…みんなて「0」は見事に達成



長かった(?)夏休みが終わり、後期後半がスタートしました。休み明け初日の23日(金)、全校集会を行いました。最初は、各学年の代表の発表。それぞれ夏休みの楽しかった思い出やこれからがんばりたいことを堂々と発表してくれました。校長からは、夏休み前に「目標を決めるときは、数字を入れるといいよ。夏休みにみんなで達成する目標の数字は“0”という話をしたのを受けて、それが達成できてよかったという話をしました。何が“0”にするのがみんなの目標だったかはお子さんに聞いてみてください(その話をする際、校長の夏休みの目標は“5,000”“2,000”“2”だと伝え、先日の集会で達成できたかどうかを報告しました。その内容も是非聞いてみてください)。最後に、生徒指導担当の碁内先生から、生活のリズムを夏休みモードから学校モードに切り替えようという話がありました。学校モードに切り替えるために、家で心がけることは次の三つ。

- ①早寝早起きをしよう
- ②持ち物の準備は前日のうちにしよう
- ③朝ごはんをしっかり食べよう

子どもたちの生活リズムが学校モードに切り替わり、元気に活動できるようになるには、ご家庭のみなさんのご協力が必要です。上の三つのことができるよう、ご協力よろしくをお願いします。



元気で安全に登校するために

○夏休み明けは「あいさつ運動」からスタート!



夏休み明け初日の朝、仙北地区少年保護育成委員会や角館警察署の方々が来校し、『「おはよう」あいさつ運動』として、夏休みの工作などたくさんの荷物をもって登校する子どもたちを玄関で迎えてくださいました。玄関前だけではなく、通学路の途中でも、地域の方々があいさつ運動をしてくださっていました。子どもたちが「私たちは、多くの方に見守られて登校している」と感じる事が、事故防

止に大きくつながっていると思います。地域の方々へ心から感謝申し上げます。

○夏休み中、ご対応ありがとうございました

夏休み中、ある保護者の方から「プールに行くときの子どもたちの自転車の乗り方が心配だ」という声をいただきました。すぐに、一斉メールで注意を呼びかけ、自転車の使用について再度確認をさせていただきました。その後は、心配な場面がなくなったという声もいただきました。

子どもたちの様子を気にかけて、学校に教えてくださる保護者がいること、学校からの一斉メールにすぐに対応して下さる保護者が揃っていることを、改めて有り難く感じた一件でした。今後とも、子どもたちの登下校の様子などで気になる点がございましたら、学校にご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

**これからは暑さにまけず…
 各教室にエアコン設置完了**

夏休み前から作業が行われていたエアコン設置の工事が夏休み最終日に終了し、休み明け初日から起動させています。正式な学校への引き渡しは、30日ですので、今は試運転を兼ねての起動です。各教室以外にも家庭科室、音楽室など子どもたちが活動するほぼすべての場所に設置されました。これで勉強にも今まで以上に集中して取り組めることでしょうか？



**先生たちも、着用します…
 教師用名札使用開始**

昨年来、子どもたちに名札を着用しようと呼びかけてきましたが、先生たちの間で「私たちも着用したらどうか」という意見があり、夏休み明けから着用することにしました。名札を着用する目的の一つは「公私の気持ちの切り替え」です。先生たちも子どもたちに負けないよう、名札を着けて気持ちを学校モードにがんばっていきたいと思います。名札着用100%を達成しよう。



スマホと人をサルにする？①



夏休みに見つけた文章の中に保護者の皆様と一緒に考えていきたい内容のものを見つけました。スマホと学習の関係についての文章です。かいつまんでご紹介します。

東北大学は仙台市教育委員会と共同して、2010年から継続して「子どもたちの学習意欲をどのようにしたら向上させることができるか」を研究しています。その中で中学生約2万人を対象に、数学の試験結果と平日の家庭での学習時間、携帯電話やスマートフォンの使用時間の関係を3年間継続して調べたところ次のような結果がでたそうです。

- 家庭で毎日2時間以上勉強をしても、携帯・スマホを3時間以上使用すると、携帯・スマホを使用せず、かつほぼ勉強しない生徒よりも成績が低い。
- 家庭で勉強しない生徒たちは、携帯・スマホを1時間以上使用すると、使用時間の長さに比例して点数が低くなっている。
- 十分に睡眠を取っていても、睡眠不足であろうが、携帯・スマホの使用時間が長ければ長いほど成績は下がる。
- スマホ等を非使用の子どもが継続して使用しなければ元々の成績がより向上していく。使用を開始するとよかった成績が落ちていく。
- スマホ等を使用していた子どもがそのまま使い続けると悪い成績がさらに悪くなる。使用を止めると成績が向上する。

↓ということは…

学力低下の要因は、勉強時間や睡眠時間の長短ではなく、携帯・スマホを長時間使ったことが直接影響している可能性がある。

スマホなどを使用しすぎると、学習成績に影響を与えるということはよく言われます。でもそれはスマホなどを長時間使っていると、睡眠時間が短くなったり、学習時間が短くなったりするからだと思っていました。研究チームは、以上のような結果から「学力低下の要因は、勉強時間や睡眠時間の長短ではなく、携帯・スマホを長時間使ったことが直接影響している可能性があるのではないか」と考え、脳の働きや発達と携帯・スマホの関係を調べました。調査結果については、次号で！



各ご家庭に配付する学校報を今回から白黒版に変更させていただきたいと思います。各校に配当される印刷費が大幅に削減されたことによるものです。ホームページに掲載する学校報はこれまでどおりカラー版です。カラーでご覧になりたい場合は、そちらをご覧ください。白黒版になりましたもご愛読の程、よろしくお願いたします。